

様式第一号

法人名 社会医療法人宏潤会

※医療法人整理番号

所在地 名古屋市南区白水町9番地

貸借対照表

(令和4年 3月 31日 現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	8,810,728	I 流動負債	2,252,335
現金及び預金	5,462,215	買掛金	532,473
事業未収金	3,159,985	短期借入金	303,600
たな卸資産	108,611	未払金	459,849
預け金	11,475	未払費用	274,986
前払費用	27,350	未払法人税等	8,539
役員等短期貸付金	30,600	未払消費税等	17,787
その他の流動資産	31,650	前受金	1,541
貸倒引当金	△ 21,161	預り金	121,420
II 固定資産	7,888,685	賞与引当金	531,614
1 有形固定資産	7,747,492	その他の流動負債	522
建物	6,208,625	II 固定負債	5,727,140
構築物	163,369	長期借入金	4,466,030
医療用器械備品	575,334	退職給付引当金	1,190,410
その他の器械備品	148,377	役員退職慰労引当金	70,698
車両	4,397	負債合計	7,979,476
土地	640,787	純資産の部	
建設仮勘定	6,600	科目	金額
2 無形固定資産	109,702	I 積立金	8,719,937
ソフトウェア	109,329	繰越利益積立金	8,719,937
その他の無形固定資産	373		
3 その他の資産	31,489		
役員等長期貸付金	300		
長期前払費用	4,264		
その他の固定資産	26,925	純資産合計	8,719,937
資産合計	16,699,414	負債・純資産合計	16,699,414

式第二号

法人名 社会医療法人宏潤会

※医療法人整理番号

所在地 名古屋市南区白水町9番地

損 益 計 算 書
(自 令和 3年4月1日 至 令和 4年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		18,266,371
2 事業費用		16,683,794
本来業務事業利益		1,582,577
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		289,631
2 事業費用		357,198
附帯業務事業損失		67,567
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		1,374
2 事業費用		12,544
収益業務事業損失		11,170
事業利益		1,503,840
II 事業外収益		
受取利息	27	
その他の事業外収益	41,304	41,331
III 事業外費用		
支払利息	24,608	
その他の事業外費用	17,665	42,273
経常利益		1,502,898
IV 特別利益		
固定資産売却益	4,726	
その他の特別利益	5,665	10,391
V 特別損失		
固定資産除却損	699	
その他の特別損失	28,424	29,123
税引前当期純利益		1,484,166
法人税・住民税及び事業税	8,527	8,527
当期純利益		1,475,639

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

医薬品、診療材料及び貯蔵品

先入先出法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月以降に取得した建物（建物附属設備を除く）及び平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備並びに構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建	物	3年～39年	
構	築	物	4年～45年
医療用器械備品	2年～10年		
その他の器械備品	2年～20年		
車	両	4年～6年	

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人で利用するソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

③ 一括償却資産

取得価額が10万円以上20万円未満の一括償却資産については、3年間で均等償却を行っております。

④ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が前々会計年度末日の負債総額が200億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を計上しております。

③ 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当会計年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が200億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく期末要支給額を計上しております。

4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

控除対象外消費税等については、発生会計年度の費用として処理しております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

① 補助金等の会計処理

固定資産を購入する目的で受取った補助金等については、直接減額方式によっております。

6 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

①収益業務に関する資産及び負債

	金額（千円）
建物	53,580
医療用機械備品	18,480
その他の機械備品	1,474
建設仮勘定	3,300
長期前払費用	4,264
その他の固定資産	18,164
資産合計	99,264

②収益業務からの繰入金の状況

	金額（千円）
繰入純額期首残高	0
当期繰入額（△元入額）	△110,434
繰入純額期末残高	△110,434

7 担保に供されている資産に関する事項

該当事項はありません。

8 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

該当事項はありません。

9 重要な偶発債務に関する事項

該当事項はありません。

10 重要な後発事象に関する事項

該当事項はありません。

11 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

- ① 賃貸借処理をしたファイナンス・リース取引に係るリース料総額及び未経過リース料の当期末残高

(単位：千円)

資産の種類	リース料総額	未経過リース料の 当期末残高
車 両	31,579	18,560

- ② 有形固定資産の減価償却累計額

12,262,597 千円

- ③ 補助金等の内訳、交付者及び貸借対照表等への影響額

(単位：千円)

補助金等の名称	交付者	金額	貸借対照表等への 影響額
新型コロナウイルス感染症対策補助金	愛知県	1,314,991	事業未収金 267,315
愛知県医療従事者応援金	愛知県	358,000	事業未収金 11,550
新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金	厚生労働省	274,500	—
地域型保育給付費	名古屋市等	77,392	事業未収金 5,058

病院群輪番制病院運営費補助金	愛知県病院協会	40,973	事業未収金 20,485
新型コロナウイルスワクチン個別接種のための支援事業にかかる請求	愛知県	36,024	事業未収金 9,129
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	厚労省	24,100	事業未収金 105
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備補助金	愛知県	21,941	事業未収金 1,732
新型コロナウイルス副反応対応相談窓口業務	愛知県	19,384	事業未収金 6,285
名古屋市病児・病後児デイケア事業業務委託契約	名古屋市	16,598	—